

どんなときも 自分を落ち着かせ つかんだ憧れの舞台

令和5年9月19日から24日までイギリスで開催された「2023年カヌー・スラローム世界選手権大会」で15位となり、2024年に開催されるパリオリンピックの出場枠を獲得。
日本カヌー連盟の規定により、出場枠を獲得したことで、パリオリンピック代表に内定され、歴代4人目となる中津川市出身オリンピックアンとなった田中選手に、当時の心境や心がけていることを伺いました。

生涯学習スポーツ課（☎内線4305）



オリンピックへの抱負や中津川での思い出を語る田中選手

——オリンピック出場が決まった時どのように感じましたか。

最初は憧れの舞台に行けることへの実感があまりありませんでしたが、気がついたら手が震えていて、だんだんと体からうれしさが込み上げてくるような、不思議な感覚でした。

今思うと「オリンピックでメダルを取る」という目標への道がつながったことへの安心感の後にうれしさが込み上げてきたのだと思います。

——歴代4人目の中津川市出身オリンピックですね。

私が中津川市で4人目のオリンピックアンだということは割と最近知りました。当然うれしかったのですが、今まで中津川市から3人もオリンピックが出ていたことを知らなかったことは恥ずかしかったです。

もつと中津川市のスポーツのことを知りたいと思うようになりましたし、カヌー競技のことも多くの人に知って

もらえたらいいなと思いました。

——オリンピック出場に向け意識したことはありませんか？

自分を落ち着かせることですね。実際、オリンピック出場がかかった試合の前で、アクシデントがいくつかありましたが、どのアクシデントの時でも、自分を落ち着かせて冷静に対処できたからこそ、オリンピック出場につながったと思っています。

——カヌーの面白い点や楽しい点、やりがいを教えてください。

カヌーの面白い点は、水の流れを扱うことです。流れをうまく使えば楽に進むし、うまく使えないと無駄に力が必要になります。

また、自分と水の力を合わせなければならぬというのは、他競技ではない面白い点です。

そんな競技なので、流れと自分の力が合わさった時は、これ以上ないほど楽しいです。また、練習を重ねて流れを理解していくのがやりがいです。



第19回アジア競技大会（2022/杭州）カヌー・スラローム競技大会



2023カヌー・スラロームアジア選手権大会・アジア大陸予選会表彰式

——競技を続けてきてつらかったことや、辞めたいと思ったことはありませんか？

つらかったことはたくさんありますが、中でも一番つらかったのは、高校最後のジュニア世界選手権で、最後の最後に大きなミスをしてしまい、予選敗退したこと。ジュニアの集大成の大会で、恩師の加藤コーチと挑む最初で最後の国際レースだったので、本当につらかったのを覚えています。

その後数年間は、その大会がたまに夢に出てきてつなされていました。

そんなことばかりでしたが、カヌーを辞めたいと思ったことは一度もありませんでした。

——中津川市での思い出は？

中津川市の思い出は、なんと冬も冬の市民プールでの練習です。普段は川や湖で練習をしていたので、日が早く沈む冬季は、暗すぎて学校終わりに練習することができませんでした。そんな時に、冬季休業中の市民プールを貸していただけることになり、冬



市民プールでの練習のひととき

場も安全に質のいい練習ができるようになったことは、当時の私たちからしたら奇跡的なことで本当にうれしかったです。

——中津川市民へのメッセージ

オリンピックに出場する原点は、カヌーを始めた中津川市です。それを支えてくれた全ての方々に感謝していますし、そんな地元でメダルを持って帰りたいと強く思っています。

我々スポーツ選手は、応援が本当に力になります。どうか地元中津川市の皆さまには温かい応援をしていただくと幸いです。

また、中津川でカヌーを始めてみた人は、私が所属していた「中津川ジュニアカヌークラブ」に連絡してみてください。みんなでカヌーをしましょう！

■スラローム男子カヤック出場予定日・種目

日本時間	種目
7月30日(火) 22時00分～	シングル予選
8月 1日(木) 22時30分～	シングル準決勝・決勝
8月 3日(土) 22時30分～	クロスタイムトライアル
8月 4日(日) 22時30分～	クロス予選
8月 5日(月) 22時30分～	クロス準々決勝～決勝

※7月30日、8月1日（田中選手出場の場合）に、ひと・まちテラスでパブリックビューイングを予定しています。

■スラロームカヤックとは？

左右にブレードがついたパドルでこぐカヤック（全長3.5m以上、全幅0.6m以上）を使い、流れのある河川のコースを1艇ずつスタートして、決められたゲートを通りながらタイムを競います。

流れの上流、もしくは下流からつるされたゲートを通りながらゴールまでの時間の両方を競います。



■中津川市出身歴代オリンピック一覧

氏名	競技	開催地	成績
伊藤 ひろみち 伊藤 広道	レスリング	ソウル (1988年)	G74kg級 8位
小栗 かずしげ 小栗 和成	ウエイト リフティング	ソウル (1988年)	60kg 7位
岩畔 みちのり 岩畔 道德	ボート	バルセロナ (1992年)	13位
		アトランタ (1996年)	16位

■田中 雄己

中津川市立第一中学校出身。駿河台大学4年 カヌー部。小学生の時から全国大会に出場、高校からは国際大会にも出場。令和4年度には、国民体育大会で優勝し、中津川市民功績賞を受賞。



みんなで応援しよう！